

友人同士で「何かやろう！」

穴見さん 夫の転勤で福岡から熊本に戻った時「就職しないと0歳の次男を保育園に預けられない」「保育園が決まらなくて就職できない」という状況でした。そこに上原さんが「2人で何かしない？」と声を掛けてくれました。旧知の仲なので、彼女と起業することに不安はありませんでした。それより「現状を変えるためにもやってみよう」という気持ちが強かったです。

上原さん ちょうどパートを辞めて「自分で生み出した物で人を喜ばせたい」と思っていました。私はUVレジン、穴見さんは布を使った小物作りが得意だったので、ハンドメイド雑貨の販売はどうか、という話になりました。

Case3

2人だから乗り越えられる！ 子育て世代の居場所 づくりも構想中



ともに1981年、熊本市出身。高校時代から親交を続ける。2022年、お互いに趣味だったアクセサリー制作で起業。週に3日ほど益城町のチャレンジショップでアクセサリーを販売するほか、インターネットや県内のマルシェにも出店。穴見さんは夫、長男(8)、次男(1)の4人暮らし。上原さんは長男(6)、長女(3)、実父の4人暮らし。



ノココトハナミスタマ
(左)穴見和美さん、上原瑞江さん

チャレンジショップという選択

上原さん テレビで益城町のチャレンジショップ事業のことを知り、家賃が安いこと、お互いの住まいの中間点であることから、即申し込みました。穴見さん 起業について夫には「家計に無理のない範囲で出資する」と伝えました。起業後も楽観せず、お客さんのニーズを聞くなど、店を持っているからこそその強みを生かし課題をクリアすることが大切です。

チャレンジショップとは？

空き店舗などを新規開業者に貸し出し、経営指導などを行って独立開業を支援する事業です。



益城町のチャレンジショップ キニナル

収入は厳しいけれど…

穴見さん 起業してもうすぐ1年。それぞれパートやアルバイトを掛け持ちしながらチャレンジを続ける日々ですが、1人がパートの日はまだ1人が店に立つなど、柔軟に対応できています。

上原さん 店を持つことでマルシェに誘われ、そこで作家同士のつながりができるなど輪の広がりを感じます。何より、目の前でお客さんが作品を取り「かわいい!」と目を輝かせるのを見られるのが幸せ。一步を踏み出して良かったと思えます。



起業に迷っている人たちへ

穴見さん 「やりたい」という思いを持ち続けているなら、できない理由よりできる方法を考えると、一步踏み出しやすくなると思います!

次なる挑戦も視野に

上原さん 現在の営業は今年9月末で終了します。今後は育児中の人が特技を生かして働けたり、親子がリラックスできたりするような場所を作りたいです。

はあもにいの起業支援の取り組み

起業家
支援講座

～自分らしい生き方・働き方～ プチ起業はじめの一步 セミナー&座談会

起業した先輩から経験談を聞いたり、座談会で情報交換したりしながら自分の起業プランを考えてみる講座。本誌特集で取材した上野さんと諸藤さんのお話も聞けますよ。

日時: 10月14日(土) 10時~13時 定員: 15人(先着順)
参加費: 500円(軽食・ドリンク付)
申込: はあもにいへ
電話または2次元コードから



コワーキング スペース



テレワークを体験・実践する場として会館1階に設置。起業準備などに利用できます。

時間: 10時~19時(休館日、利用不可日を除く)
※休館日: 第2・4月曜
料金: 新規登録料および更新料
詳細は2次元コードから



ご意見募集 今の特集「働き方も多様な時代『小さな起業』のススメ」について、あなたのご意見・ご感想をお聞かせください。宛先は巻末へ。



Case2

ネットショップ立ち上げ NPOの仕事の傍ら コーヒー販売を実現

1983年、荒尾市出身。九州全域で災害が起きた際に教会と地域を支援するNPO法人九州キリスト災害支援センターに2016年から勤務。その傍ら「炭火自家焙煎MORO珈琲」を21年に立ち上げ、「毎日の生活を豊かに」をコンセプトに、月に2回の焙煎を行い、インターネットでコーヒー豆の販売などを行っている。妻と長女(15)、長男(12)の4人暮らし。



MORO珈琲
諸藤栄一さん

被災者の笑顔引き出したコーヒー

災害支援センターの職員として避難所へ出向く機会があります。災害支援の現場は大変な状況なので、雰囲気ガピリガピリしてくることも。ホッとできる時間をつくりたいと、起業を考える以前に、豆を買ってきてコーヒーを淹れ、現場で提供したことがあります。被災された方々もボランティアスタッフもコーヒーを飲むと表情が明るくなり、その場に会話が生まれていたのが印象的でした。



課題解決に つながる活動を

今は家族との時間を優先しながら、価格設定などを模索し販路を拡大中です。利益が上がったら、収益の一部を災害支援者のために役立てたいです。また、福祉施設での販売やがん末期の方へコーヒーを提供した経験から、社会や人々が抱える課題解決につながる活動にも目を向けています。ホッとできるコーヒーの時間を提供することで、会話が生まれ、大切な人とつながる。そんな日がたくさんあれば、家族やコミュニティーの温かさを感じられるのではないかと、その可能性を見出しています。



マルシェ出店が起業のきっかけ

2020年、知人が自家焙煎の様子を見学した時に興味を持ち、焙煎の仕方や豆の良し悪しも教えてもらいました。後日、焙煎用に七輪や小さなハンディ焙煎器を入手。知人から荒尾で開催されているマルシェで販売してみないかと声を掛けられ、出店したのが起業のきっかけとなりました。



起業へのステップ



知人やSNSから情報を収集。1年かけてコーヒーについて学ぶ。

食品衛生管理の資格を取得。営業届、開業届などを提出する。

NPOの仕事は日中に、コーヒー販売の作業は夜や休日に行い両立。

ありがたいことに、NPOはダブルワークに理解を示してくれています。また、家族にも本気度が伝わり、コーヒーの楽しみを共有できているのがうれしいです。私が苦手な経営・管理について妻がアドバイスをくれることもあります。

起業の準備編 小さな起業を始める前に知っておきたいことを紹介します。

01 副業がOKか確認を

副業でプチ起業を行う場合は、在籍している企業が副業を容認しているかを確認しましょう。副業が禁止されているにもかかわらず起業をしようとする、就業規則違反になる可能性があります。

02 開業届が必要

「会社と別にウェブデザインの仕事を継続的に行う」「複数の生徒を抱え、毎週オンライン講座を開催する」など、継続的に対価を得る事業は開業届が必要です。提出期限は事業開始から1カ月以内。所轄の税務署に提出を(e-Taxでの電子申請も可)。※その他にも業種によって必要な届け出があります。詳しくは「XOSS POINT.」(下記)にお問い合わせください

03 所得税の申告

所得が年間20万円以上ある場合は確定申告する必要があります。また節税対策として、開業届と同時に青色申告承認申請書も提出しておくこと。特別控除を受けられるケースもあります。



熊本市のビジネス支援施設 XOSS POINT.(クロスポイント)

起業家等の発掘・育成に取り組む熊本市初のスタートアップ支援施設。女性のためのビジネス相談・社労士相談をはじめとする各種無料相談会や交流イベントを定期的で開催。託児あり。



場所: くまもと森都心プラザ2階
(熊本市西区春日1丁目14番1号)
時間: 月曜~土曜 9時半~20時 / 日曜・祝日 9時半~18時
※休館日: 第3水曜
問い合わせ: 096-355-7402

